

大学番号：公022

[平成27年度設置]

計画の区分：学部設置

届出

高知工科大学 経済・マネジメント学群

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

高知県公立大学法人 高知工科大学
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課） 総務部総務課

職名・氏名 クバ マサフミ
久保 賢文

電話番号 0887-53-1111

（夜間） 0887-53-1111

F A X 0887-57-2000

e-mail general@ml.kochi-tech.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経済・マネジメント学群

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	16
6. 留意事項等に対する履行状況等	36
7. その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

~~公立大学法人高知工科大学~~
高知県公立大学法人

(2) 大学名

高知工科大学

(3) 大学の位置

〒782-8502

高知県香美市土佐山田町宮ノ口185番地（香美キャンパス）

〒780-8515

高知県高知市永国寺町2番22号（永国寺キャンパス）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナカザワ タクジ) 中澤 卓史 (平成27年4月1日)		
学 長	(イソベ マサヒコ) 磯部 雅彦 (平成27年4月1日)		
学 群 長	(バン カネミ) 伴 金美 (平成27年4月1日)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称、定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済・マネジメント学群 学士(経済学) 学士(マネジメント学)	4年	160人	— 年次人	640人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	160人 (-) [-]	0人	160人 () []						1.08倍	
志願者数	981 (-) [-]	(-) [-]	711 (-) [-]	(-) [-]						
受験者数	833 (-) [-]	(-) [-]	553 (-) [-]	(-) [-]						
合格者数	209 (-) [-]	(-) [-]	205 (-) [-]	(-) [-]						
B 入学者数	178 (-) [-]	(-) [-]	170 (-) [-]	(-) [-]						
入学定員超過率 B/A	1.11		1.06							

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 7 年度		平成 2 8 年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[-] (-) 178	[-] (-) -	[-] (-) 170	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
2 年次			[-] (-) 178	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
3 年次					[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4 年次							[-] (-)	[-] (-)	
計							[-] (-)	[-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成 2 8 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	178 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
			平成30年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	170 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0 %
			平成29年度	— 人	— 人		
			平成30年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	0 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
			平成30年度	— 人	— 人		
平成30年度 入学者	— 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人		— %
合 計	348 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)

・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、

【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。

・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。

(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学

・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<経済・マネジメント学群>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
人文・社会科学科目	日本国憲法	1前		2							兼 1	
	哲学	2後		2							兼 1	
	倫理学	2前		2							兼 1	
		1後										
	地域共生概論1	1前		2		1						科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
	地域共生概論 2	2後		1		1						
	文化としての戦略と戦術	1後		2							兼 1	
		1後										
	日本人の教養	1前		2							兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
	人権問題	1前後		1							兼 1	
	基礎心理学	1前		2							兼 1	
	体育理論	1前後		1							兼 1	
	体育実技	1前後		1							兼 1	
	音楽文化論	1前		1							兼 1	
	心理学	2後		2							兼 1	
	知的財産権と特許	3前		2							兼 1	
	日本史概説	2前		2							兼 1	
		2後										
	西洋史概説	2前		2							兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
		2前										
	東洋史概説	2後		2							兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
	日本近現代史	2後		2							兼 1	
	経営学概論	1前		2			1					
	ミクロ経済学入門	1前		2		1						
	ゲーム理論入門	1前		2			1					
	会計学総論	1後		2			1					
		1前										
	日本発展史(E)	1後		2		1						科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
		1前						2				
	マクロ経済学入門	1後		2		1	1	1				科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
												担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27)
	社会学入門	1・2・3後		2							※	他開講科目の内容充実により、放送大学科目を廃止 (27)
	世界の名作を読む	1・2・3後		2							※	放送大学
問題解決の進め方	1・2・3後		2							※	他開講科目の内容充実により、放送大学科目を廃止 (27)	
ドイツ語入門Ⅰ	1・2・3後		2							※	放送大学科目再編により廃止 (27)	
ドイツ語Ⅰ	1・2・3後		2							※	代替科目として追加 (27)	
ドイツ語入門Ⅱ	1・2・3後		2							※	放送大学科目再編により廃止 (27)	
ドイツ語Ⅱ	1・2・3後		2							※	代替科目として追加 (27)	
中国語Ⅰ	1・2・3後		2							※	放送大学	
中国語Ⅱ	1・2・3後		2							※	放送大学	
韓国語入門Ⅰ	1・2・3後		2							※	放送大学	
韓国語入門Ⅱ	1・2・3後		2							※	放送大学	
人文科学特別講義 1	1前		1							兼 1		
										兼 5		
Reading/Listening 1	1前後		1							兼 4	科目充実のため、教員を追加 (27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
人文・社会科学科目	Reading/Listening 2	1前後		1							兼 5
	Listening/Speaking	1前後		1							兼 4 科目充実のため、教員を追加 (27)
	Science English	1前後		1							兼 1
	Science Lab	1前後		1							兼 5
	Thinking in English 1	2前後		1							兼 4
	Thinking in English 2	2前後		1							兼 4
	Science Reading 1	2前後		1							兼 4 平成27年3月就任辞退により、兼担、兼任教員に変更 (28)
	Science Reading 2	2前後		1							兼 4 平成27年3月就任辞退により、兼担、兼任教員に変更 (28)
	Speech Communication	1前		2							兼 1
	Power English	1後		2							兼 1
	Presentation	2前		2							兼 1
	Reading & Writing Workshop	2後		2							兼 1
	Global Leadership I	3前		2							兼 1
	Academic English/TOEFL	3後		2							兼 1
	Debate	3前		2							兼 1
	Advanced Reading & Writing	3後		2							兼 1
	Global Citizen	3前後		2							兼 1
	Business/TOEIC English	3前後		2							兼 2
	Technical Reading	3前		2							兼 1
	Technical Presentation/Writing	3前		2							兼 1
	スタディスキルズ 1	1前		2							兼 1
	スタディスキルズ 2	1後		1							兼 1
	キャリアプラン基礎	2後		1							兼 1
	キャリア・プラン 1	3通		1							兼 1
	キャリア・プラン 2	3通		1							兼 1
	チャレンジポイント 1	1・2・3前		1							兼 1
	チャレンジポイント 2	1・2・3前		1							兼 1
自然科学科目	教養の天文学	1後		2							兼 1 兼 3
	物理学概論	1前		2							兼 4 科目充実のため、教員を追加 (27)
	現代化学の基礎	1後		2							兼 1
	生命科学	1後		2							兼 1
	口腔科学	1前		1							兼 4 担当教員の健康上の理由により、科目廃止 (27)
	応用化学概論	2後		2							兼 3
	ヒトの生物学	2後		2							兼 1
	総合エネルギー学概論	1前		1							兼 1 科目内容充実のため、科目名変更 (27)
	身近な気象学	1・2・3後		2							※ 放送大学科目再編により廃止 (27)
	はじめての気象学	1・2・3後		2							※ 代替科目として追加 (27)
	惑星地球の進化	1・2・3後		2							※ 放送大学
	人体の構造と機能	1・2・3後		2							※ 放送大学
	基礎数学	1前		1							兼 4
		1前後									
	数学 1	1前		2							兼 6 科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
	数学 2	1前後 1後		2							兼 6
	数学 3	1前後 1後		2							兼 5 科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
	数学 4	1前後 2前		2							兼 5 科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
	数学 5	2前後		2							兼 3 科目の効果的配置による配当時期変更 (28)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
自然科学科目	数学 7	2前後		2							兼 2	科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
	数学 8	2後		2							兼 2		
	数学 9	2後		2							兼 1		
		2前											
	数学 10	2後		2							兼 1		
	微分方程式論	2後		2							兼 1		
	代数学概論	2前		2							兼 1		
	応用数学	3後		2							兼 1		
	代数学 1	3前		2							兼 1		
	代数学 2	4前		2							兼 1		
	複素関数論	3前		2							兼 1		
							2						
	コンピュータリテラシー	1前		2			4	1					教育課程充実のため、教員を追加 (27)
		1前											
	情報科学 1	1前後		2							兼 1		科目の効果的配置による配当時期変更 (27)
	情報科学 2	1後		2							兼 1		
	情報科学 3	1後		2				1					
専門基礎科目	宇宙を読み解く	1・2・3後		2							※	教育課程充実のため、放送大学科目を追加	
	自然科学ははじめの一步	1・2・3後		2							※	教育課程充実のため、放送大学科目を追加	
	フューチャーアースのためのデータサイエンス	2前		2							兼 5	教育課程充実のため、科目を追加 (27)	
	環境とエネルギー	1後		2							兼 2	教育課程充実のため、科目を追加 (27)	
	環境とイノベーション	1前		2							兼 3	教育課程充実のため、科目を追加 (27)	
								6					
	数理マネジメントセミナー I	1前		2			9	5				担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27)	
							6						
	セミナー I	1前		2			9	5				担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27)	
		1後											
	心理学入門	1前		2				1				科目の効果的配置による配当時期変更 (27)	
		1後											
	危機管理概論	1前		2							兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (27)	
	経営システム特別講義	1前		2			1						
		1後											
	地域活性化システム論	1前		2			1					科目の効果的配置による配当時期変更 (27)	
	簿記 1	1前		2			1	1					
		1後											
	簿記 2	1前		2			1	1				科目の効果的配置による配当時期変更 (27)	
	現代経済事情	1前		2		1							
	制度設計工学入門	1前		2		4					兼 1	担当教員の専任教員就任辞退による役職変更 (27)	
	スポーツ概論	1前		2							兼 1		
	線形代数学1	1前		2							兼 1		
	微分積分学1	1前		2							兼 1		
						7		6					
	セミナー II	1後		2		8	9	5				担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27)	
						7		6					
	数理マネジメントセミナー II	1後		2		8	9	5				担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門基礎科目	統計学Ⅰ	1後		2			1				兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (27)	
	経営史	1後 1前		2				1					
	法律学	1後		2									
	スポーツ経営学	1後		2				1			兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (27)	
	国際協力入門	1後 1前		2		1							
	経営学入門(E)	1後		2		1	1						
	グローバルコンピテンシーモデル(E)	1後		2		1					兼 1 兼 1 兼 1	科目充実のため、担当を専任教員に変更 (27)	
	線形代数学2	1後		2									
	微分積分学2	1後		2		11	6	5					
						7		6				退職 (1名) 及び職位変更 (4名) に伴う変更 (28)	
	インターンシップⅠ	2		2		8	9	5					
						11	6	5					
						7		6				退職 (1名) 及び職位変更 (4名) に伴う変更 (28)	
	セミナーⅢ	2前		2		8	9	5					
						11	6	5					
						7		6				退職 (1名) 及び職位変更 (4名) に伴う変更 (28)	
	数理マネジメントセミナーⅢ	2前		2		8	9	5					
		2後											
	経営管理論	2前		2		1	1					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
		2後											
	経営戦略論	2前		2		1	1					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
	経営組織論	2前		2			1						
	統計学Ⅱ	2前		2		1							
	社会心理学基礎	2前		2					1			兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更及び担当教員の職位変更に伴う変更 (28)
		2後				1							
	経済学で使う数学	2前		2		1							
ミクロ経済学Ⅰ	2前		2					1			兼 1	担当教員の専任教員就任辞退による役職変更 (27)	
					1		2						
マクロ経済学Ⅰ	2前		2		1	1	1				兼 1	他開講科目の内容充実により廃止 (28)	
コンピュータ会計	2前		2				1						
	2後												
原価計算	2前		2					1			兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
スポーツと社会学	2前		2										
スポーツ産業論	2前		2				1	1					
微分積分学3	2前		2								兼 1	職位変更に伴う変更 (28)	
政治経済学	2後		2		1								
システム解析	2後		2				1						
	2前										兼 1	科目充実のため、専任教員追加 (28)	
マネジメント科学のための質的研究法	2後		2		1	1							
スポーツマーケティング	2後		2				1		1		兼 1	科目内容充実のため、専任教員に変更し、オムニバス講義とする (28)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	地誌学	2前 2後		2							兼 1	科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
	幾何学概論	3後		2							兼 1	
	幾何学1	4前		2							兼 1	
	確率・統計	4前		2							兼 1	
	幾何学2	4前		2							兼 1	
	資本市場の役割と証券投資	2後		2							兼 1	教育課程充実のため、科目を追加 (27)
専門発展科目	財務会計論	2後 1前		2			4	1				退職に伴い専任教員に担当者変更 (28)
	プロジェクトマネジメント(E)	2後		2		2						科目の効果的配置による配当年次変更 (28)
	社会システム経営論	2後		2		1						
	人文地理学	2後 2前		2				1				
	自然地理学	2後 2前		2				1				科目の効果的配置による配当時期変更 (28) 職位変更に伴う変更 (28)
	ゲーム理論	2後 2前		2		1	4					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
	計量経済学	2後 2前		2		1						科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
	金融論	2後		2			1					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
	実験計画法	2後 2前		2		1	1					科目内容充実のため、専任教員の追加 (28)
	心理統計学	2後		2			1					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)
	リーダーシップ論	2後		2			1				兼 4	科目内容充実のため、担当者を専任教員に変更 (28)
	イノベーション論	2後 2前		2		1						
	マーケティング論	2後 2前		2		1					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
	リスクマネジメント(E)	2後		2		1					科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
	ミクロ経済学 2	2後		2				1	2		職位変更に伴う変更 (28)	
	マクロ経済学 2	2後 2前		2		4	4	4			担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27)	
	社会生物学	2後		2			1				科目の効果的配置による配当時期変更 (28)	
	プログラミング	2後		2				1				
	プロジェクト評価(E)	3前		2		1		1				
	人的資源管理論	3前		2		1						
	マーケティング戦略	3前		2		1						
	産業論	3前		2		1						
	地域産業振興論	3前		2		1						
	地理情報論	3前		2				1				
	実験経済学 1	3前		2				1				
	実験経済学 2	3前		2				1				
	進化モデリング 1	3前		2		1		1				
	計量経済学応用	3前		2		1						
	実験のためのプログラミング	3前		2			11 7	6 6	5 5			退職 (1名) 及び職位変更 (4名) に伴う変更 (28)
	セミナーⅣ	2後		2		8 11 7	9 6 6	5 5 6				担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27) 退職 (1名) 及び職位変更 (4名) に伴う変更 (28)
数理マネジメントセミナーⅣ	2後		2		8	9	5				担当教員の就任辞退により、専任教員追加 (27) 職位変更に伴う変更 (28)	
産業組織論	3		2		1	4					教育課程充実のため、科目を追加 (27)	
企業経営学	3・4		2		2		1				教育課程充実のため、科目を追加 (27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専攻領域科目	インターンシップⅡ	3・4		2		11 7	6 6	5 6			退職（1名）及び職位変更（4名）に伴う変更（28） 担当教員の就任辞退により、専任教員追加（27）
	専攻セミナーⅠ	3前		2		8 11 7	9 6	5 5 6			退職（1名）及び職位変更（4名）に伴う変更（28） 担当教員の就任辞退により、専任教員追加（27）
	専攻セミナーⅡ	3後		2		8 11 7	9 6	5 5 6			退職（1名）及び職位変更（4名）に伴う変更（28） 担当教員の就任辞退により、専任教員追加（27）
	プロジェクト研究	4		8		8 7	9 6	5 5 6			担当教員の就任辞退により、専任教員追加（27） 退職（1名）及び職位変更（4名）に伴う変更（28）
	スポーツメディア論	3・4前		2						兼 1	
	競技スポーツ論	3・4前		2						兼 1	
	スポーツ企業マネジメント	3・4後		2				1			
	スポーツ行政論	3・4後		2						兼 1	
	レクリエーション論	3・4後		2						兼 1	
	国際会計(E)	3・4前		2			1			兼 1	退職に伴い職位変更（28）
	国際マーケティング(E)	3・4前		2		1					
	マネジメント・コミュニケーション(E)	3・4前		2						兼 1	
	国際経営学	3・4後		2		1					
	国際経済学(E)	3・4後		2		1					
	開発経済学(E)	3・4後		2		1					
	マネジメント・プレゼンテーション(E)	3・4後		2						兼 1	
	技術経営論	3・4前		2		1					
	起業論	3・4前		2		1					
	流通システム論	3・4前		2		1					
	経営情報システム論	3・4後		2			1				
	マネジメントゲーム	3・4後		2			1				
	企業論	3・4後		2		1	1				職位変更に伴う変更（28）
	企業価値評価論(E)	3・4後		2				1			
	行政経営論	3・4前		2		1					
	都市環境論	3・4前		2				1			
	環境経営論(E)	3・4前		2		1					
	ビジネスプラン	3・4後		2			1	1			職位変更に伴う変更（28）
	まちづくりリスト論	3・4後		2			1	1			職位変更に伴う変更（28）
	NPO論	3・4後		2		1					
						1					担当教員の再就任に伴い変更（28）
	制度設計工学	3・4前		2		1				兼 1	担当教員の専任教員就任辞退による役職変更（27）
	行動経済学	3・4前		2		1	1				職位変更に伴う変更（28）
	社会心理学応用	3・4前		2				1			
	集団行動論	3・4後		2				1			
	進化社会学	3・4後		2			1				
	政治行動論	3・4後		2		1					
						1					職位変更に伴う変更（28）
	経済政策	3・4後		2		1	1	1		兼 1	担当教員の専任教員就任辞退による役職変更（27）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
専攻領域科目	高知経済分析	2前 3・4後		2		1					科目の効果的配置による配当年次変更 (28) 科目内容充実のため、担当者変更 (28) 科目の効果的配置による配当年次変更 (28)
	公共経済学	2前 3・4後		2		1		1			
	ファイナンス論	3・4前		2			1				
	金融工学	3・4後		2			1				
	進化モデリング2	3・4後		2			1				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	214科目	科目	214科目	科目	222科目	科目	222科目	
				[]	[8]	[]	[8]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	該当なし	—	—	—	—	—

- (注) ・設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	社会学入門	2	1・2・3後	一般	選択	「人文・社会科学科目」の内容充実により他開講科目で対応可能なため廃止 (27)
2	問題解決の進め方	2	1・2・3後	一般	選択	「人文・社会科学科目」の内容充実により他開講科目で対応可能なため廃止 (27)
3	ドイツ語入門Ⅰ	2	1・2・3後	一般	選択	放送大学科目再編により廃止。代替科目として、「ドイツ語Ⅰ」を追加 (27)
4	ドイツ語入門Ⅱ	2	1・2・3後	一般	選択	放送大学科目再編により廃止。代替科目として、「ドイツ語Ⅱ」を追加 (27)
5	身近な気象学	2	1・2・3後	一般	選択	放送大学科目再編により廃止。代替科目として、「はじめての気象学」を追加 (27)
6	口腔科学	1	1前	一般	選択	担当教員の健康上の理由により廃止。「自然科学科目」の内容充実により他開講科目で対応可能 (27)
7	コンピュータ会計	2	2前	専門	選択	教育効果を高めるため、他開講科目との統合により廃止 (28)

- (注) ・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「社会学入門」、「問題解決の進め方」については、「人文・社会科学科目」の内容充実により他開講科目での対応とした場合でも当該設置学群の教育課程の趣旨や養成する人材像の達成に支障がないと判断し、廃止した。教員の健康上の理由により廃止となった「口腔科学」についても、「自然科学科目」の内容充実により対応可能と判断した。 「ドイツ語入門Ⅰ」、「ドイツ語入門Ⅱ」、「身近な気象学」については放送大学科目再編により廃止となったため、代替科目として「ドイツ語Ⅰ」、「ドイツ語Ⅱ」、「はじめての気象学」を追加する。 「コンピュータ会計」については、教育効果が高まると判断したため、他開講科目と統合することにより廃止した。 学生には時間割やシラバス等を用いて周知するとともに、講義が開始日までに実施するオリエンテーションで科目の変更内容を反映した履修モデルを示し、履修指導を担当するアドバイザーから説明を行った。

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	7	=	0.03
設置時の計画の授業科目数の計	214		

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	そ の 他	13,404 m ²	0 m ²	0 m ²	13,404 m ²				
	合 計	87,960 m ²	16,776 m ²	3,491 m ²	108,227 m ²				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		56,571 m ² (56,571 m ²)	13,476 m ² (9,169 m ²)	2,771 m ² (2,771 m ²)	72,818 m ² (68,511 m ²)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		39 室	32 室	59 室	4 室 (補助職員 0人)	4 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		経済・マネジメント学群			35 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体での 共用分 図書97, 209冊 〔26, 892〕 学術雑誌1,070冊 〔446〕 視聴覚資料 5,111点 見直しにより数値変更 (27) 計画の見直し及び蔵書 増による数値変更(28)	
	経済・マネジメント 学群	15,046 [1,941] 16,046 [2,070] (16,046 [2,070]) (15,046 [1,941]) (15,334 [2,009])	187 [79] 212 [90] (212 [90]) (187 [79]) (190 [79])	1,581 [1,549] 1,625 [1,592] (1,625 [1,592]) (1,581 [1,549]) (1,677 [1,645])	764 799 1200 (799) (764) (996)	27 44 (44) (27) (30)	0 (0)		
	計	15,046 [1,941] 16,046 [2,070] (16,046 [2,070]) (15,046 [1,941]) (15,334 [2,009])	187 [79] 212 [90] (212 [90]) (187 [79]) (190 [79])	1,581 [1,549] 1,625 [1,592] (1,625 [1,592]) (1,581 [1,549]) (1,677 [1,645])	764 799 (799) (764) (996)	27 44 (44) (27) (66)	0 (0)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		4,001 m ²		599席		374,000冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,248 m ²		テニスコート3.5面		雨天練習場			
(8) 経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※教員1人当たり研究費等は 平均額を記入。
		教員1人当たり研究費等		2,714千円	図書購入費	10,283千円	10,751千円	12,395千円	
	共 同 研 究 費 等		75,000千円	設備購入費	414,062千円	0	0	※共同研究費は大学全体 分を記入。	
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	※図書購入費には電子 ジャーナル、データベースの整備 費を含む	
		838千円	538千円	538千円	538千円				
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称		高 知 工 科 大 学								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		平成27年より学生募集 停止	
システム工学群	年 4	人 170	年次 3 4	人 688	学士 (工学)	倍 1.06	平成21年度4月	高知県香美市 土佐山田町宮ノ口185			
環境理工学群	4	90	3年次 3	366	学士 (理工学)	1.11	同上	同上			
情報学群	4	100	3年次 3	406	学士 (情報工学)	1.08	同上	同上			
マネジメント学部	4	100	3年次 0	200	学士 (マネジ ント学)	1.16	平成20年度4月	同上			
経済・ マネジメント学群	4	160	3年次 0	320	学士 (マネジ ント学) (経済学)	1.07	平成20年度4月	同上			
大 学 の 名 称		高 知 工 科 大 学 大 学 院								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地			
工学研究科	年	人	年次 人	人		倍					
基盤工学専攻 (M)	2	150	－	300	修士 (工学) 修士 (学術)	0.67	平成9年	高知県香美市 土佐山田町宮ノ口185			
基盤工学専攻 (D)	3	25	－	75	博士 (工学) 博士 (学術)	1.05	同上	同上			
大 学 の 名 称		高 知 県 立 大 学								備 考	
	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地			
文化学部文化学科	年 4	人 120	年次 人 5	人 490	学士 (文学)	倍 1.08	平成10年度	高知市永国寺町2番22号			
文化学部文化学科 (夜間主)	4	30	3年次 3	126	学士 (文学)	1.09	平成27年度	高知市永国寺町2番22号			
看護学部看護学科	4	80	－	320	学士 (看護学)	1.03	平成10年度	高知市池2751番地1			
社会福祉学部社会福祉学科	4	70	－	280	学士 (社会福祉 学)	1.05	平成10年度	高知市池2751番地1			
健康栄養学部健康栄養学科	4	40	－	160	学士 (健康栄養 学)	1.04	平成10年度	高知市池2751番地1			
大 学 の 名 称		高 知 県 立 大 学 大 学 院								備 考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 定 容 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地		平成26年より学生募 集停止	
看護学研究科	年	人	年次 人	人		倍		高知市池2751番地1			
看護学専攻 (博士前期課程)	2	15	－	30	修士 (看護学)	0.93	平成10年度	高知市池2751番地1			
看護学専攻 (博士後期課程)	3	3	－	9	博士 (看護学)	0.98	平成26年度				
共同災害看護学専攻 (博士課程)	5	2	－	10	博士 (看護学)	1.11	平成26年度				
人間生活学研究科								高知市池2751番地1			
人間生活学専攻 (博士前期課程)	2	18	－	36	修士 (生活科 学、社会福祉 学、学術)	0.60	平成13年度	高知市池2751番地1			
人間生活学専攻 (博士後期課程)	3	3	－	9	博士 (生活科 学、社会福祉 学、学術)	0.44	平成26年度				
健康生活科学研究科											
健康生活科学専攻 (博士後期課程)	3	－	－	－	博士 (看護学、 生活科学、社会 福祉学、学術)	－	平成13年度				

大学 の 名 称	高 知 短 期 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は 称 号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
社会科学部第二部	年 2	人 -	年次 人	人 -	短期大学士 (社会科学)	倍 -	昭和28年度	高知市永国寺町2番22号	平成26年より学生募集停止

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年4月)	該当なし H27.4 届出設置		
設置計画履行状況 調 査 時 (27年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時			
設置計画履行状況 調 査 時			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<経済・マネジメント学群>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当はありません	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

本学は「教員評価システム」を導入し、大学が教員に期待する項目を提示し、活動実績の報告を求め、その総合点によって各教員を評価することを行っている。このシステムは、教育、研究、社会貢献、大学運営に対する貢献により構成され、各教員は具体的に求められる教員像をイメージし、それに対する自己の取り組みが可能となる。また、この評価項目の中には学生の授業評価も含まれており、授業の改善にも繋がっている。この学生の授業評価とは別に「The Teacher of the year」として、その年に最も優れた授業を行った教員を学生が投票で選び、表彰する制度も有しており、この賞を受賞した教員による講演会などが行われている。

また、教育の手法に関しては「教育セミナー」を、研究の手法については「研究セミナー」を開催しており、より優れた研究、よりすばらしい授業を行うため、積極的に研修会を行っている。

なお、開学時から「サバティカル・クォータ」を設定し、授業時間の4分の1（2ヶ月間）は担当授業を配当しないことで、その前または後の休業期間を加えて、自己研鑽のためのまとまった期間とすることができる。これまでこの制度を利用して7名の教員が長期研修として、海外の大学にて研修をおこなった。

特に、FD活動において、平成22年度より本格的にSPOD（四国地区大学教職員能力開発ネットワーク：平成20年度文部科学省戦略的大学連携支援授業として、愛媛大学が代表校となり申請）に参画し、その他フォーラム等を含めると35回の開催テーマにのべ58名が参加し、各々が教育力の向上に努めることができた。

① 実施体制

a 委員会の設置状況／b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）／c 委員会の審議事項等

FDに特化した委員会は設置していない。

「教育セミナー」・・・教育本部で実施

「研究セミナー」・・・研究本部で実施

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法についての研修会としての「教育セミナー」
- ・ 研究方法についての研修会としての「研究セミナー」
- ・ 学生による授業評価アンケート
- ・ 新任教員のための研修会

b 実施方法

「教育セミナー」／「研究セミナー」

少人数で行うディスカッション中心のセミナー。

プレゼンターから、約20分間のプレゼンテーションを行い、その後70分間のディスカッションを行う。

終了後、セミナー概要を学内WEBに公開。

「授業評価アンケート」

各学期終了時に、アンケートを実施。回答率は平均して85%。この結果は学内WEBに公開。

「新任教員のための研修会」

新任教員全員を対象に、教育本部長・学生本部長・事務局長からスクール形式での研修を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

それぞれ年間10回程度開催、学群長から指名を受けた者と、全学に呼びかけを行い、希望者が参加。

「新任教員のための研修会」

就任直後の4月に新任教員全員を対象に実施。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員評価、授業評価アンケートのフィードバック行い、個々の教員が結果を踏まえた授業改善に取り組んでいる。

なお、授業評価結果・研究活動・社会貢献を加味した教員評価によって、昇進、昇給が決定される。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業評価アンケートは、全科目・全学生を対象に各学期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業評価アンケートの結果は教員および科目毎に集計し、その詳細を紙媒体で教員に提供している。

また、結果の一覧を実施毎に学内ネットワーク上で閲覧が可能な形式で学生および教員に公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置から1年が経過し、全般的に計画どおり進んでいる。1年次から専門科目を履修できる体系的な4年間一貫のカリキュラムを編成し、それぞれの知識が総合的・学際的に結びつくよう、大学共通科目と専門科目を連携した講義を開講した。また、少人数によるセミナー教育、導入教育も予定どおり実施し、ほぼ全員が履修したことから、教育目標である、2年次以降の専門発展科目への基礎作りを達成できたと考えている。今後は各学生が修学目的を明確にし、それぞれの個性や興味に応じた個々のカリキュラムを構築できるよう、各学生がアドバイザー教員と相談できる体制を充実させるなど、2年次修了後の専攻選択を見据えたフォローを行っていく予定である。

入学者についてもほぼ昨年並みの人数となり、教育に適した環境を用意できている。本年度も引き続き、設置の趣旨・目的の実現に向けた努力を行っていく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学では開学以来、定期的な自己点検評価を行っており、今後も継続して行っていく。

平成21年度に公立大学法人化した際には、設置者より示された中期目標をもとに、各年度の年度計画を作成し、毎年度実績報告を行った。この前例を踏襲し、平成27年度より法人統合した新法人の中期目標をもとに今後の大学における年度計画を策定し、その評価を毎年度継続していく。

これまでの自己点検評価及び業務実績報告はホームページにて公表している。

b 公表方法

「高知工科大学自己点検・評価報告書」「大学基準協会による加盟判定審査ならびに認証評価結果」「高知工科大学業務実績報告書」としてまとめ、ホームページへ掲載するとともに第三者への配布を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

・平成24年度に評価機関の認証評価を受け、「適合」の評価を得た。次回は平成32年度に受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年6月末)